

# なかしゅんべつ

2009

12

No.383



なかしゅんべつ

久保牧場

Kubo Farm



豊原地区・久保義則さん「北海道乳質改善大賞」を受賞

早期に発見し、  
的確に早期治療  
することが重要

## 北海道乳質改善大賞に

# 久保義則さん受賞

北海道乳質改善協議会（会長・枳穀勝久）では、去る11月19日、第17回乳房炎防除対策研究会が札幌市北海道厚生年金会館において、全道から酪農家、関係機関合わせて約280人の参加のもと開催されました。

まず、午前中に基調講演が行なわれ、「乳質改善の歩み」と題して、北海道酪農検定検査協会企画調整部長の熊野康孝氏による講演が行われました。

昭和初期にバターの品質規格の統一問題が提起され、その後昭和47年細菌数400万/ml規制、61年にはバルク乳の目標値を設定（細菌数・体細胞数とも30万/ml）。現在では、細菌数1・4万/ml以下・体細胞数30万/ml以下にそれぞれ規制している。

昭和50年の乳質は合乳で細菌数100万/ml以下が42・5%、体細胞数50万/ml以下が36・1%だった。

平成20年の乳質は合乳で

細菌数1万/ml以下が98・9%、体細胞数30万/ml以下が98・9%と、その成果はすばらしいものがある。

また、「乳質改善事業のあゆみと今後の課題から」と題して、酪農学園大学獣医学部教授 永幡肇氏の講演がありました。平成6年から、年1回の乳房炎防除対策研究会が開催され、事例発表では、生産現場での乳房炎防除および乳質向上に有用な多数の取組みが紹介され、生産者・関係者ともども「めざすもの」に向





つて大いに役立つてきたと思えます。決して乳房炎の問題が解決されたわけではなく、廃棄乳、薬物使用と抗生物質残留乳の問題などがあり、乳房炎による損失は計り知れないものがあります。

午後からは、北海道乳質改善大賞授賞式（22人）が行われ、当地区からは、豊原地区の久保義則さんが受賞されました。

22人のうち6人の方が特別講演を行ない、久保義則さんも事例発表を行いました。

### 久保義則牧場のプロフィール

根釧バイロツトファームの一角にある久保牧場。帯広畜産大学別科を卒業した義則さんは1979年に20歳で就農した。76年に建てられた48頭規模の牛舎は今も現役で、その後は7年ほど前から育成牛を預託牧場に出すようになったため、育成舎をつなぎ牛舎に改造し、現在の80頭規模に拡大。良質乳生産とともに、経営的にも自給飼料を中心とした余裕のある酪農を実践している。

乳質に関しては「乳房炎を完全になくすことはできないが、早期発見と早期治

療はできる」と話す義則さん。普段の前搾りや搾乳後のフィルター観察などを通じて、早期に乳房炎を見つけ、的確に治療することの重要性を指摘する。「搾乳手順は、前搾りから1頭1布、搾乳後のポストディッピン

グなどを励行。特に乳房炎の早期発見については、バルク乳の体細胞数データをしながら、通常の5〜6万を超えるような場合は、病歴のある牛を中心に乳房を1本ずつPLテストで調べ、菌を特定して抗生物質を投与する。ただし治療後

もすぐ再発する牛は3〜4回までは我慢して治療するが、それ以上は盲乳にするか、もしくは乾乳期間中に治るケースもあるので早めに乾乳している」と話す。しかし、乳量を追求して委託栽培したデントコーンをTMRに加えていた時期は、体細胞数が常時10万を超えていた。それが、デントコーンをやめ、牧草ペー

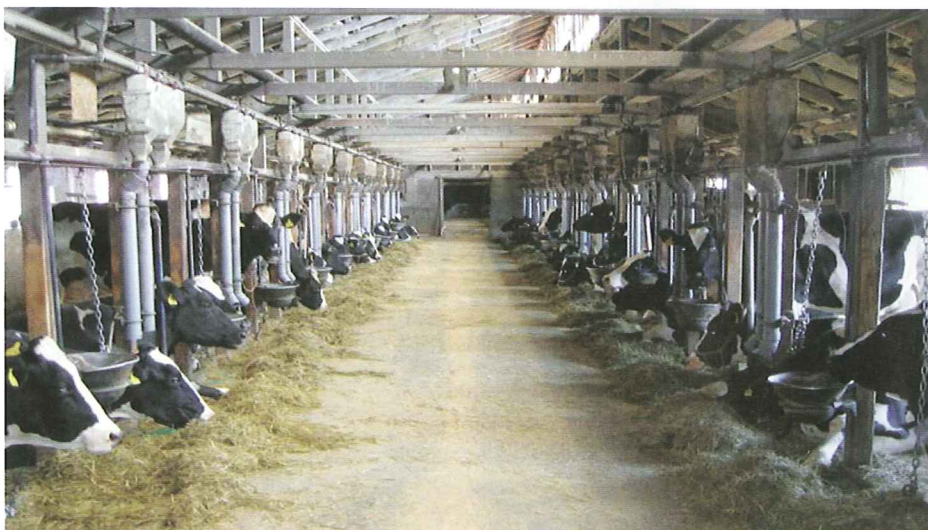
スのTMRに切り替えてからは粗飼料の食い込みもよくなり、牛の状態も良

好になって、結果的に乳質が安定し、乳量も増えたという。「牛に重荷をかけた治療を繰り返すより、人も牛もお互いに楽になれる。作業時間の短縮にもなる」と話していた。

事例発表では久保さんの他に5人の方が発表された

ますが、「乳質に関して特別なことはない。基本に忠実なだけ」と話されていた。また、「自信を持って消費者に提供したい。安心・安全で美味しい牛乳を届けたい」と発表していました。

ら10人の方が参加されました。



今回の第17回乳房炎防除対策研究会には、良質乳生産推進委員会から2人の参加、中春別酪農振興会か

# 協同の力で築く 「あすの食をささえる北海道農業」

北海道農業の潜在能力のフル発への挑戦  
協同と信頼の絆で築く新時代のJ A

去る11月20日、札幌コンベンションセンターにおいて、第26回JA北海道大会(大会長・JA北海道中央会飛田会長)が、全道のJAグループと関係機関から、およそ1,800人が集い開催されました。



この大会は、J Aグループ北海道としての意思を決定し、組織への結集を呼びかけることを目的に、3年に1回開催されており、大会決議事項の実践をJ A・中央会・連合会が、それぞれの実態を踏まえながら、工夫を凝らして取り組んでいこうというものであります。

今回は、開会前のオープニングで、テレビ番組「あぐり王国北海道」の森崎博之さんが北海道農業と食育について体験談を交えて語り、また、記念講演では、これもテレビなどでお馴染みの(財)日本総合研究所会長の寺島実郎さんが、「北海道農業の将来とJ Aの役割」と題して、世界経済の動向と併せて講演されました。そして、本大会に移り、第1号議案「北海道農業の潜在能力のフル発揮への挑戦」では、1、北海道農業の潜在

能力を發揮するための農業政策の実現に向けた運動の展開、2、「食」と「農」の大切さを発信する活動の展開、3、農業所得の拡大のための作目別対策の推進、4、担い手の確保・育成と営農支援機能の強化、5、食の安全・安心確保とバイオマス対策の推進、の5項目が、また、第2号議案「協同と信頼の絆で築く新時代のJ A」では、1、J A活動への参加による組織基盤の強化、2、多様な事業機能の發揮によるサービスの提供、3、J Aらしい経営スタイルの確立と健全経営の実践、4、活力ある職場づくり、の4項目が満場の拍手で決議され、さらに、「J Aグループ北海道への結集に関する特別決議」が成されました。

最後に、J A北海道女性協議会の河田会長が、道民のみなさんへのメッセージとして、「これからも、私たちJ Aは地域とともに歩み、道民のみなさんの期待と信頼に応えたい」とメッセージ文を読み上げ、盛会の中で第26回J A北海道大会が終了いたしました。

## 青年部 視察研修

### 自分たちの育てた牛が どんな商品になるの？

中春別農協青年部(石森裕治部長)では、10月26日から28日の2泊3日の日程で北海道チクレン農業協同組合連合会、酪農学園大学視察研修を実施しました。



工され商品化されている事から事業の概要についてお話しを伺いました。その後、実際にチクレンミート札幌工場へ案内していただき商品について説明を受けました。酪農学園大学では、インテリジェント牛舎を見学するとともにバイオガスパラントも併せて見学し、見学後は学園内を見学しました。3日間天候にも恵まれ無事視察研修を終え中春別へと帰って参りましたが、最後になりましたが、参加された部員の皆さんお疲れ様でした。

今年は雨天が多く夏場の牧草収穫作業が遅れ、作業がずれ込んでしまった事もあり、参加された部員は例年と比較すると少ない中で視察実施となりました。始めに北海道チクレン農業協同組合連合会を視察して参りました。当地区内で生まれ素牛まで育てられ出荷された雄牛が肥育後、加



# 根室地区JA青年部大会



## 管内盟友が集い結束を図り、 青年部活動の更なる飛躍を誓う

根室地区  
JA青年部  
大会開催

中標津町「寿宴」において、管内各地区の盟友が集う中、大会テーマを『CHALLENGE～未来につながる強い農業であるために～』と題し、11月6日(金)根室地区JA青年部大会が開催されました。



開会式では参加者全員でのJA青年組織綱領を朗唱し、JA青年部組織の在り方を確認し講演へと移りました。

講演では、講師にホクレン生乳共販課 課長・近藤好弘氏を講師に招き「最近の生乳需給動向と今後の課題」をテーマに講演され、参加した盟友ひとり一人にとって自身の営農に直接関わるテーマであり、真剣な表情で耳を傾けメモを執っておりました。

講演会終了後は昼食を挟み各テーマに分かれての分科会が行われ、合計5つの分科会に別れテーマに沿って各単組の取組み、盟友ひとり一人の思いを互いに述べながら活発な意見が飛び交い各分科会共に充実した内容となっております。



分科会終了後、実績発表が行われJA道東あさひ青年部の取組みが発表されました。

また、アームレスリング大会では、各地区5人の猛者が集い白熱した試合が繰り広げられました。今大会の優勝者は、12月に行われます全道青年部大会への切符を手に入れる事ができ、会場からは熱い声援が送られました。出場者は真剣そのもので当地区からは、美原地区・尾形徹さんが出場し1回戦を見事突破し、続く決勝戦へと駒を進めました。決勝戦では、惜しくも敗退してしまいましたが、会場からは大きな拍手が送られておりました。

今大会を通じ、多くの盟友との交流を図り充実した大会となった事と思います。今後の青年部活動がさらに発展していくことでしょう。



平成21年度 JA北海道女性リーダー研修会・北海道光の家



全道女性リーダー  
研修会  
北海道家の光大会

女性部のページ

# 「元気な食をいただきます」 in北海道

11月7日から9日にかけて「元気な食をいただきます」in北海道、全道女性リーダー研修会・北海道家の光大会が札幌で開催され、当農協からは畠山副部長が参加しました。



7日から8日の「元気な食をいただきます」in北海道のイベントでは先日、女性部のFAXにてレシピの取りまとめを行い提出いただきました5品（青野美幸さん・牛肉ごぼう、久保朋子さん・鮭のオイスターソースいため、畠山友子さん・ブラマンジェ・ミルク入り豆パン、尾形好枝さん・ポテトコロッケ）を出品しました。



根室地区全体では25品の出品があり、どれも普段作る料理ばかりが展示されました。フラワーハーモニー

7日は全道女性リーダー研修会・北海道家の光大会が開催され、家の光記事活用体験発表や家の光の読み聞かせ、大興産業代表取締役・猪原實氏による講演が行われました。

大きなイベントもありましたが他の地域との交流ができた研修となりました。

では女性部で作った押し花キャンデル、阿部郁子さんの作った花の置き物が展示されました。

9日は全道女性リーダー研修会・北海道家の光大会

# 国内の自給率の低さにビックリ！

日本の自給率が世界と比べてどのくらいなのか、また自分たちの口に入っている食べ物はどこで作られているのかを知ってもらうため、11月13日中春別中学校2年生を対象に食農教育の授業を行いました。始めに生徒のみなさんに国内で生産されている牛肉、豚肉、果物、魚の割合を予想してもらいました。牛乳・乳製品の自給率が66%と意外な数字だったので驚かしてあげようか。他に納豆、みそ、豆腐を作っている大豆の自給率が5%だった

## 食育活動・中春別中学校訪問



ことに生徒たちは「へえ〜！」と驚きの様子。授業の後半には、家庭でも作れるバターと生キャラメルを作り、みなさんと食べました。バターの出来上りの早さには校長先生、教頭先生もビックリしていて、生キャラメルもすぐに食べてなくなりました。今年初の試みでしたが、中春別中学校の生徒さん、先生方、女性部のみなさんの協力で無事終える事ができました。参加されたみなさんご協力いただいた皆様、おつかれさまでした。

女性部のページ

## 根室地区フレッシュミズ研修会

### ストレス解消法や自分たちの意見を発表



10月26日から27日にかけてJA根室地区フレッシュミズ研修会が開催され、当農協からは2人が参加しました。最初にバスで釧路動物園に向かいました。学芸員にいろいろな動物たちを紹介していただき、シロクマのツヨシ、トラのココア、そしてペンギンたちの散歩も近くで見ることができ、子供たちも大喜び。夜は、阿寒湖畔ホテルエメラルドで美味しい夕食をいただき、根室地区の他の農協の部員さんと交流をしました。自由時間になれば温泉に入ることもでき、何種類かある温泉でゆっくり体を温め休めることができましたのではないのでしょうか？2日目はフレッシュミズの活動について



このグループ討議をし、自分たちがフレッシュミズについて感じたことや、悩みをうち明け、ストレスの解消方や自分たちの意見をまとめ、発表してもらいました。農業のお母さんはやる事がたくさんありますが、「負けないぞ〜！」という意見が聞くことができ励みになりました。これからもフレッシュミズ活動でやりたいことや趣味のきっかけになる活動をしていきたいですね！

## 花壇整備・地域振興計画 並びに中期計画に係る意見交換会



女性部では、今年も花と緑にかかわる活動として、1年を通し美しい花壇づくりを行いました。

去る10月29日、暖かい日差しの中、女性部メンバー・園芸グループが中心に14人が参加し、春に植えた花を抜き、来年の花植えに向けて花壇を綺麗にしました。

午前中からの作業にも関わらず、マルチビニールの撤去、雑草の除去を終えました。毎年の心のこもった手入れで来年も綺麗な花壇を期待できそうですね！

### 女性部・園芸グループ

花壇整備を行った後は昼食をと

り、地域振興計画並びに中期計画に係る意見交換会が行われました。意見交換会には農協から総務部大山部長、購買部友貞部長、営農部登部長が出席され、登部長より地域農業振興計画アンケート調査結果の説明がありました。消費拡大や環境整備、店舗の利用など奥さんたちのきたない意見が出され、今後おいに参考になりますのでこれからも気軽に話しを聴かせてほしいとのこと。参加されたみなさんお疲れさまでした。



西春別にあります別海・道の宿温泉しまふくろうで11月16日から17日にかけて木の実部会1泊研修旅行を行いました。

部会員7人は農協から送迎バスに乗り、しまふくろうへ部員とお喋りを楽しみながらの出発となりました。到着後、夕食前に皆さんロビーでみかんを手にニコニコとお喋りをする部員たち。

夕食はしゃぶしゃぶとお刺身、中華料理をご馳走になり、お腹も一杯



### 木の实部会・1泊研修旅行

なんと  
仲間とお喋りが1番！



になったところでゲーム大会が開催されました。新聞紙を制限時間内にできるだけ長くちぎっていく新聞紙ゲーム。そして毎年恒例のビンゴをやり、みなさんカードにくぎづけで豪華賞品(?)を前に盛り上がりました。その後はめいめいに温泉に浸かり夜が更けるのを忘れ仲間と話をしてストレス解消と明日からのエネルギーを蓄えたのではないのでしょうか。





ショウシーズンの最後を締めくくる

2009北海道ホルスタインウインターフェア

# リザーブインターミディエイト チャンピオン獲得

山田博和氏



去る10月25日、音更町の十勝農協連家畜共進会場で2009北海道ウインターフェアが開催されました。



本年最後の全道規模で行われる共進会には、全道各地から161頭の参加があり、ほとんどの乳牛が前日から会場に入って毛刈りや乳房調整などを行いました。

審査員には、カナダのバークレイ・フィーニクス氏が当たりました。

今年のローヤル・ウインターフェアの審査員にも決まっている人物です。

当農協からは山田博和さん1頭、山田晃嗣さん1頭の計2頭が出品されました。

結果、山田晃嗣さん出品のライブリー スポツテイブリツツ号が第9部(ジュニア2オクラス)で2位！山田博和さん出品のYMD ロクセツト ミスターサム モア号が第11部(ジュニア3オクラス)で1位！

リザーブインターミディエイトチャンピオンを獲得しました。とても、輝かしい成績でした。いよいよ来年には、安平町で全日本ホルスタイングランプリが開催されます。1頭でも多くこのショウに出場できることを期待しています。

	名	号	生年月日	出品者住所	出品者氏名
グランドチャンピオン	レークビュー セジス ルーテル	ピースター	H16.9.1	佐呂間町	惣田 譲治
リザーブグランドチャンピオン	ハツピーライン スタールー	サミー ET	H18.1.12	上士幌町	吉田 智貴
シニアチャンピオン	レークビュー セジス ルーテル	ピースター	H16.9.1	佐呂間町	惣田 譲治
リザーブシニアチャンピオン	ハイロード ダンディ	エピソード	H17.6.30	上士幌町	小椋 淳一
インターミディエイトチャンピオン	ハツピーライン スタールー	サミー ET	H18.1.12	上士幌町	吉田 智貴
リザーブインターミディエイトチャンピオン	YMD ロクセツト ミスター	サム モア	H18.8.8	別海町	山田 博和
ジュニアチャンピオン	ピツクアーファーム	ファミマ エ ゴー	H19.11.12	広尾町	佐藤 孝一
リザーブジュニアチャンピオン	ハツピーライン ゴールド	マキアージュ ET	H20.8.10	上士幌町	吉田 智貴
ベストショウマン	上士幌町 吉田 智貴	最多出品賞	清水町	(有)田中牧場	



# ホルスタイン写真 コンテスト

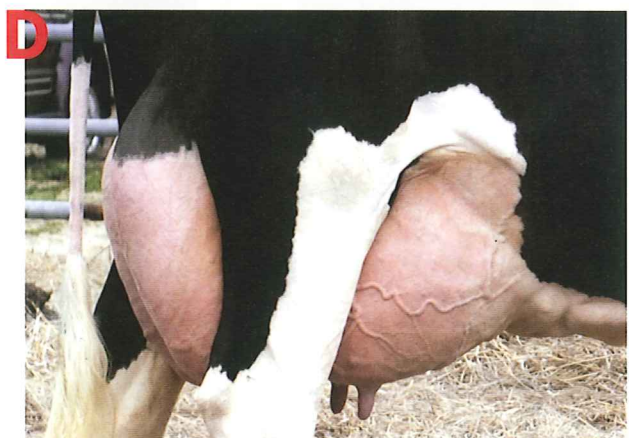
第22回 成年クラス(乳器)

乳牛改良同志会(会長・山田博和)では、毎年ご好評  
いただいております「ホルスタイン写真コンテスト成

年クラス(乳器)」を実施いたします。つきましては、投票  
要項をご確認の上、お早めにご応募ください。多数のご  
応募お待ちしております。

予想投票応募要項

1. 同封しております予想投票用紙へ6頭の序列を行い、  
その牛の該当記号(A~F)をご記入ください。
2. 全問正解者もしくは、正解率の高い方には、商品を  
贈呈いたします。  
なお、正解者多数の場合は抽選により決定いたし  
ます。
3. 住所、氏名、記号を記入し、記入後は畜産販売課(畜  
産指導係)もしくは授精師にお渡しください。
4. 応募メ切は12月20日(日)となっておりますので、期  
日厳守にて応募してください。  
なお、FAXでも応募を受け付けております。  
FAX:0153-76-3006



# 営農対策情報

根室農業改良普及センター



保温シートやコンパネで上から逃げる熱をキャッチ!



横・奥・横の3方にパネルを取付けて風が走らない暖かい場所を作ってネ! 触っても冷たくない素材が大好きです。



タオル1枚でマフラー完成。これは超簡単!

子牛に寒さを  
感じさせない  
アイデア



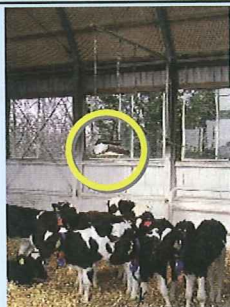
体の芯から冷える夜には、ハッチを丸ごとカバーしてもOK

体熱を逃がさない



寒いキライ!  
濡れるのもニガテ!  
ストレスが重なる  
と肺炎になっちゃうヨ

暖め方にもコツがある



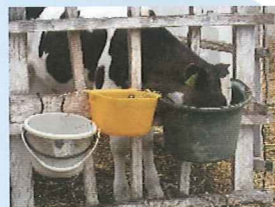
保温ヒーターは、このぐらい下げた設置すると効果大



寒い夜には湯たんぽで大喜び



寒さを感じている牛は腹毛が伸びている!!

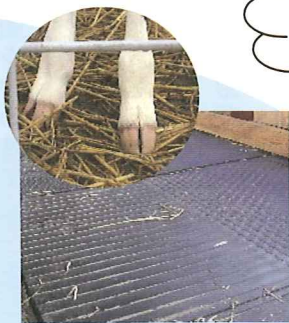


極寒時(-18℃以下)には、哺乳1回追加分のエネルギーが必要

寒冷時の栄養



フカフカの敷料は優しさの証。ワラの下にオガ粉を敷くと断熱効果がさらにアップ



牛床マットを下に敷くと冷たくならないヨ

腹と肢蹄を冷やさないのが鉄則

ホッとできる陽だまりづくり



寒さのストレスは連続させないのがコツ。日光浴で免疫カアップ!



カーフハッチを南東に向けると朝日が入りやすくなる

# ご結婚 おめでとうございます



中春別地区 小 湊 均さん・郁 子(濱垣)さん



中春別地区・小湊均さんと標茶町出身、濱垣(旧姓)郁子さんがご結婚され新たな生活をスタートされました。

お二人は共通の友人の紹介で知り合い、特にどちらからという訳でもなく何度か顔を合わせるうちにいつの間にか自然と交際がスタートしていたそうです。

初めて会った時のお互いの印象についてお伺いしま

## しっかり働き、二人の時間を大切にしたい

すと均さんは、「話し方がかわいい」、郁子さんは、「そばにいると安心できる人だな」と互いに好感をも

っており、いつしか付き合うようになっていたそうです。

また、郁子さんは初めて会った際に「この人と結婚するかもしれない」と感じたとそうで、お二人にとって運命的な出会いとなったそうです。

約2年間の交際を経てこ

の度、ご結婚されました。結婚を決めたきっかけについても「特にプロポーズもなかった」と自然とお互いそろそろと感じていたようです。お二人の出会いはやはり運命だったのでしょう。どんな家庭を築いて行きたいですかとの質問に均さんは、「笑いが絶えない家庭」、郁子さんは「幸せだと感じられる家庭を作って行きたい」と笑顔で話してくれました。

最後に今後の目標についてお伺いしますと「働く時にはしっかり働き、奥さんとの時間を大切にしていきたい」均さん、「牛舎仕事をしたい」と郁子さん。幸せいっぱいのお二人、末永くお幸せに。

# 多くの方が参加し 楽しい一時を満喫 しました



中春別農協年金友の会(渡辺栄頭会長)では、11月18日(水)にお楽しみ会を行いました。

昨年に引き続き今年もマルエー温泉ホテル俵橋を会場とし、今回61人の方々が参加してくださいました。



着後、受付の終わった方から順に温泉に入ったり、部屋でくつろいだりと食事会までの時間を有意義に過ごすみなさん。12時ちょうどより始まった食事会では、次々に出てくる料理、デザート、お酒に大満足でした。ほどよく食事も進んだところで、恒例となっておりますカラオケへと移り、みなさんそれぞれに自慢の歌声を披露されていました。ソ

予定時刻通り  
に出発したバス  
は一行を乗せ、  
会場へと向かい  
ました。マルエ  
ー温泉俵橋へ到



最後にありますが、今年度も年金友の会1年間の行事を通して、たくさんの方

口で、デュエットで、また曲に合わせて踊ったりと、自分の楽しみ方で時間を満喫しているようでした。懐かしの曲がかかると、「いよいよ」「うまいねえ」など声が飛び交い、また全員で手拍子もあつたりと、会場全体が一つとなって大いに盛り上がりました。その後、昨年同様にマルエー温泉からのサービスでお楽しみ抽選会があり、お米、お酒、食べ物などの豪華賞品をいただきました。帰りの際には記念品として切り餅一袋をお土産に会場を後にしました。



加をいただきありがとうございます。今年も残すところあとわずかとなりましたが、健康に気をつけていただき、来年も元氣な姿でお会いできることを心より楽しみにしております。

# 第9回 理事会のうごき



平成21年11月30日(月)

## 議案

1. 平成21年度9月末定期監査に伴う整備改善事項の回答について
2. JA全国監査機構監査に伴う改善事項の回答について
3. 平成21年度半期デイスクロージャー誌による開示について
4. 年末年始の業務日程について
5. JAフルスペックロー

## 報告事項

1. 組合員加入について
2. 平成22年度新規採用職員（高卒）の内定について
3. 北海道農協経営審査協会による内部審査報告書について
4. 固定資産実査の終了について
5. 子会社の監査報告書に

以下、原案通り承認

6. 畜産経営維持緊急支援資金融通に係る利子補給について
7. JASTEM次期システム移行に係る危機管理計画書、窓口業務継続策の制定及び移行対策本部の設置について
8. 平成 営農年度クミカ取引変更並びに貸越極度額及び供給限度額の変更・認定について
9. 平成21営農年度財産造成に伴う資金の借入・貸付について



6. J Aバンク基本方針に基づき平成21年度上半期「経営状況に関する事項の報告」について
7. J Aバンク2009ラストWチャンスキャンペーンの実施について
8. 平成21年度10月末営農生産関連実績について
9. 平成21年度酪農飼料基盤拡大事業に係る概算払請求について
10. リース契約について
11. 平成21年度集荷路線の除雪について
12. 第17回乳房炎防除対策研究会の報告について

## 10月 乳質乳価一覧表

(単位:円/kg)

## 10月分乳代支払単価

		単価	算出基礎	支乳	払前	年同	差
乳脂肪分		768.368		30.87	29.36		1.51
無脂乳固形分		486.522		42.64	40.69		1.95
補給金		3.8534		3.85	3.97		-0.12
計画チーズ奨励金							
乳質単価	生菌数	ランク1	2	309,102,371.1kg	3.71	3.76	-0.05
		ランク2	0	5,541,141.9kg			
		ランク3	-3	123,081.4kg			
	体細胞数	ランク1	2	264,774,952.4kg			
		ランク2	1	26,923,342.4kg			
		乳質向上	ランク1	-2	3,890,899.0kg		
特別対策	ランク2						
合計				81.07	77.78		3.29

項目	単価(円)/kg%	
乳脂肪分①	30円87銭	
無脂乳固形分②	42円64銭	
補給金③	3円85銭	
チーズ奨励金④		
脂肪率	全道	4.02%
	農協	4.02%
無脂固形分率	全道	8.76%
	農協	8.74%
成分乳価①+②+③+④=⑤	全道	77円36銭
	農協	77円30銭
乳質乳価⑥	全道	3円71銭
	農協	3円64銭
乳代合計⑤+⑥	全道	81円07銭
	農協	80円94銭
	差異	-0.13銭

# 平成21年度 年末・年始の業務日程表

休業

日程 区分	平成21年		平成22年							
	12/30(水)	12/31(木)	1/1(金)	1/2(土)	1/3(日)	1/4(月)	1/5(火)	1/6(水)	1/7(木)	
事務所(除信用)	午前中のみ営業									御 用 始
事務所信用窓口	平常業務					平常業務	平常業務	平常業務		
Aコープ中春別	午後3時まで営業			午後3時まで営業			午後3時まで営業			
給油所	午後3時まで営業 (給油・配達)			午前9時~午後3時 まで営業(給油・配送)			午前9時~午後3時 まで営業(給油・配送)			
倉庫	午前中のみ営業					平常営業				
訪問介護事業所 あさひな	平常業務	サービス提供のみ	サービス提供のみ	サービス提供のみ	サービス提供のみ	サービス提供のみ	サービス提供のみ	サービス提供のみ	サービス提供のみ	
人工授精	平常業務	午前中のみ 業務	午前中のみ 業務	午前中のみ 業務	午前中のみ 業務	午前中のみ 業務	午前中のみ 業務	午前中のみ 業務	午前中のみ 業務	
共和育成牧場	(家畜管理業務のみ)									
生乳業務	抗生物質検査のみ	抗生物質検査のみ	抗生物質検査のみ	抗生物質検査のみ	抗生物質検査のみ	平常業務	平常業務	平常業務		
備中春別マシンセンター	午前中のみ営業						午前中のみ営業	午前中のみ営業	御用始	

※農業機械・車両整備の連絡先 佐藤専務宅76-2475 平林工場長宅76-2603

備ジェイエーワンプ	午前中のみ営業								御用始
-----------	---------	--	--	--	--	--	--	--	-----

※作業依頼の連絡先 猿谷専務宅76-2076 高橋課長(携帯) 090-8630-6636

## ◎販売関連業務

- |              |              |                   |
|--------------|--------------|-------------------|
| (1)初生トク・素牛集荷 | (2)哺育・育成集荷   | (3)ホクレン市場         |
| 年内最終集荷12月29日 | 年内最終集荷12月30日 | 最終開催日12月28日(初生のみ) |
| 年明集荷1月5日     | 年明集荷1月7日     | 年明開催1月6日          |

## ◎人工授精業務

午前受付のみ業務、午後からは休業

## ◎緊急時の連絡先

- (1)停電……………北電72-2010
- (2)除雪……………高野課長宅76-2722、白石次長宅76-2830
- (3)給油……………(緊急携帯) 郡司係長080-6090-2923
- (4)飼料等配送……………(緊急携帯) 別海貨物(山口) 090-5072-3954
- (5)生乳検査……………平間係長宅0153-86-2130(緊急携帯) 090-2076-4014、高野課長宅76-2722
- (6)夜間バルク抗生物質検査…(緊急携帯) 090-2076-4014
- (7)FAX故障……………山形担当宅72-0477
- (8)その他……………佐藤課長宅76-2866、大山部長宅76-2715

## JA中春別酪農ヘルパー利用組合年末年始業務日程

●休業 12月31日(夕)~1月4日(朝)

●業務開始 1月4日(夕)から通常業務開始

●緊急ヘルパー受付

★農協営業日 営農振興課 電話76-2241番

★農協休業日 成田課長 自宅 電話76-2615番 携帯電話 090-2059-7152

相澤係長 携帯電話 090-7056-0830

## 編集後記

▼いよいよ1年の終わり12月を迎えました。11月には、例年よりもいくぶん早く初雪が降りました。1歩外へでると寒さが身に染み、辺りを見渡せば薄氷も張っており「あつ」と言う間に春、夏、秋、と季節が移りかわり、1年の終わり道東の長い冬が訪れました。

▼突然の雪にタイヤ交換に追われた方もいるのでは無いでしょうか。1年でもっとも交通事故が多くなる季節を迎え、路面状況も刻一刻と変化します。今1度、安全運転を心がけていただきたいと思います。

▼組合員の皆さん朝晩の冷込みが厳しい中でのお仕事、毎日お疲れさまです。風邪などひかぬようお体には充分にご留意下さい。

残すところ後わずかとなりました。今年を振り返り思い残す事の無いよう新たな年に備えましょう。

▼最後になりましたが、本年もくみあいだよりを「愛読いただき誠にありがとうございます。来年も変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

身近な樹木に触れ、名前を知り  
自然ともっと仲良くなろう

## ニオイヒバ



北アメリカ中北部原産の常緑樹で、高さ20m、樹冠は狭円錐形、葉に芳ばしい香りがある。強い刈り込みに耐えられ、そのため、生垣に利用されることが多い。また、自然のままの樹形にしておくと根元近くまで枝や葉がつく。

ヒノキに似た葉(檜葉)で、その葉がとてもいい香りをもつことによる。また、ヒノキとは材をこすり合わせて火をおこした古代の風習に由来するもので「火之木」による。

庭木、公園樹、生垣、建築材、器具材など。葉から精油を採り、薬用にする。

一本の木に雄花と雌花がつき、雄花は淡褐色になる。ともに長さ2mm、小枝の先につき5月に咲くが、小さくて目立たない。球果は長だ円で0.8mm～1cm、熟すと黄褐色になる、10月に完熟する。

ニューフロンティアファームの樹木図鑑より転載・抜粋

